

杉本博司  
趣味と芸術  
—  
味占郷

Hiroshi Sugimoto:  
Art and Leisure

2016年4月16日|土| - 6月19日|日|

開館時間: 午前10時-午後6時 [入館は、午後5時30分まで]

休館日: 毎週月曜日

入館料: 一般 1,200円 [1,100円] 学生 1,000円 [900円] ※[ ]内は20名様以上の団体料金

主催: 細見美術館

協力: 公益財団法人小田原文化財団、ロンドンギャラリー、ギャラリー小柳

特別協賛: Dom Pérignon amanasalto

会場: 細見美術館

京都市左京区岡崎最勝寺町6-3

tel.075-752-5555

[http:// www.emuseum.or.jp](http://www.emuseum.or.jp)



# 趣味と芸術 —— 味占郷

Hiroshi Sugimoto:  
Art and Leisure

杉本博司は、代表作《ジオラマ》、《劇場》、《海景》といった写真シリーズで世界的に知られる現代作家です。

一方で、古美術商の経験を持ち、日本美術にも大変造詣が深く、三十三間堂の千体仏を写した《仏の海》をはじめとする日本の伝統美を自身の写真に取り入れる作品も手掛けています。さらには、2003年より世界各地を巡回した展覧会「歴史の歴史」において、自らコレクションした古美術品と自作を組み合わせたインスタレーションも試みています。まさに、現代美術の世界で古きものに新たな生命を注ぎ続けている作家と言えるでしょう。

本展では、平安時代から江戸時代の作品を中心に、西洋伝来の作品、昭和の珍品を含む杉本コレクションで27の床のしつらえを作りあげています。これは『婦人画報』で連載された「謎の割烹味占郷」の中で、杉本が各界の著名人をもてなすために、毎回そのゲストにふさわしい掛軸と置物を選んで構成した床飾りを再現したものです。同時に、「趣味」として蒐集した古今の名品・珍品を組み合わせることで、新たな「芸術」をも生み出そうとしています。

現代美術の枠を超え、活動を続ける現在の杉本をご覧ください、この作家の魅力と奥行を十分に味わっていただければと思います。



軸 堀口捨己 短歌、キリスト胸像 14世紀 イタリア トスカーナ地方  
撮影: 森山雅智 © Hearst Fujingaho



軸 明恵上人像 鎌倉時代、  
春日若宮社伝来 神鹿御神体 鎌倉時代 柳 鞍角 須田悦弘作  
撮影: 森山雅智 © Hearst Fujingaho



軸 白井晟一筆 瀟嘆、百万塔 奈良時代、李朝朱塗 書写台  
撮影: 高嶋克郎 © Hearst Fujingaho



杉本博司 | すぎもとひろし

1948年東京生まれ。立教大学経済学部卒業後、1970年に渡米。ロサンゼルスにあるアート・センター・カレッジ・オブ・デザインで写真を学び、1974年よりニューヨーク在住。現代美術作家として活動するかわら、1979年から10年間ニューヨークで古美術店を営み、個人でも古美術品を蒐集。2003年から蒐集品と自身の写真作品を組み合わせる表現活動を展開する。代表作に自然史博物館のジオラマを撮影した「ジオラマ」シリーズ(1975年-)、全米の映画館などで撮影した「劇場」シリーズ(1975年-)、世界各地の海を同じ手法で撮影した「海景」シリーズ(1980年-)などがある。近年は建築プロジェクトを手がけることも多く、さらに文楽、能といった古典芸能の舞台美術や演出など、様々なシーンで活躍。1988年毎日芸術賞、2009年高松宮殿下記念世界文化賞、2010年紫綬褒章、2013年フランス芸術文化勲章オフィシエ、2014年第一回イサム・ノグチ賞等受賞多数。主な著書に『苔のむすまで』『現像』『アートの起源』(新潮社)、『歴史の歴史』(新素材研究所)、『空間感』(マガジンハウス)がある。

## 「華厳滝図」「月下紅白梅図」特別公開

展示場所: 茶室「古香庵」(当館3階)

展示時間: 11:00-17:00

公開日	①	②	③	④	⑤
「華厳滝図」	●	●	●	●	●
「月下紅白梅図」	●	-	●	-	●

① 4/16 ② 4/19-4/22 ③ 4/23-5/8 [ただし、5/2を除く]

④ 5/10以降の平日 ⑤ 5/21以降の土日

※作品保護・イベント等によりご覧頂けない場合があります。



「月下紅白梅図」2014年 杉本博司  
撮影: 杉本博司 協力: MOA美術館、アマナサルト

次回展: 「生誕300年記念 伊藤若冲 京に生きた画家」展  
6月25日|土|-9月4日|日|



- 市バス「東山二条・岡崎公園口」下車、徒歩3分。
  - 市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、徒歩5分。
  - 地下鉄東西線「東山」駅下車、徒歩10分。
- ご来館には公共交通機関をご利用下さい。

細見美術館  
http://www.emuseum.or.jp